

NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

2013 年度事業報告書

2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日まで

1. 2013 年度 事業を実施して

▼はじめに

2013 年度は新たに専従及び非専従スタッフを迎え、専従スタッフ 3 人、非専従スタッフ 4 人、インターン 15 人、その他、定期的にオフィスに来て作業をして下さるボランティアやメンバーの皆さんに支えられ事業に取り組むことができました。それにより、2013 年度の課題の一つであった「企業や家族、英語ユーザー向けの団体紹介キットを作成し、FTCJ の活動に参加、協力頂けるような環境を整える。」に取り組み、企業や学校などの法人組織へのアプローチや、英語ユーザーのイベントで作成した資料を使いながら団体活動紹介を行い、新たな協力者の獲得につなげることができました。

2012 年度に引き続き、公立学校を中心とした学校への出張講演事業の拡充に向け、ファシリテーター及びスピーカー養成講座を実施し、述べ 36 人を育成し、92 の学校やその他組織、イベントに対してスタッフを派遣して、国際問題、人権問題及び団体活動についての講座やワークショップを行いました。2013 年度の課題の一つの「出張講演のプログラム内容を充実させ、多種多様な層にアプローチできるように対応する。」に取り組み、通常のプログラムに加え、東日本大震災によって被災した子どもへの特別支援プログラムを開発し、福島県相馬市及び宮城県仙台市の学校への無料出張講演を行い、被災児童に直接、語りかけることができたことは私たちにとって有意義な活動となりました。また、東日本大震災支援として、被災児童を無料で 5 人をカナダで夏に開催された「Take Action Camp」へご招待でき、参加した高校生からは、「カナダでのキャンプに参加して、積極的に活動するたくさんの中高生に出会い刺激を受けました。世界の貧困や児童労働で苦しむ子どもたちの存在を知り、今後、このような国際問題に高校生として、取り組んでいきたいと強く思うようになりました。」という感想をもらい、私たち自身、勇気づけられました。

海外自立支援事業としては、2013 年 11 月にフィリピンのビサヤ地方を襲った大型台風の被災地域への緊急支援をパートナー団体を通じて行いましたが、この際、多くの方から沢山の素早いご寄付やご協力を頂きましたことを重ねてここに感謝申し上げます。

組織に関わるスタッフやメンバーが年々増加していることは喜ばしいことですが、より効率的に、また個人情報の徹底した管理を行っていくことが今後の課題です。そこで、今後は事業や組織に関わる資料や情報をしっかりと管理しながら、よりスタッフがアクセス・共有しやすくするためのネットワークシステム（クラウドシステム）の環境整備と構築に取り組み、質の良い活動につなげていきたいと思っております。

▼2013 年度 活動のハイライト

1. 東日本大震災によって被災した子どもたちへの教育支援の実施

Dior（パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャパン株式会社）と株式会社チャンピオンのご支援により、東日本大震災によって被災した子どもをカナダと千葉で開催された FTC のリーダーシップ・トレーニング・キャンプ（Take Action Camp）に無料で 6 名をご招待することができました。また、福島県相馬市と宮城県仙台市の学校への無料出張講演を実施し、約 300 人の生徒さんに対してワークショップを実施することができました。

2. フィリピン大型台風の被災地域に対して、緊急支援を実施

たくさんの方々からのご支援によって、2013 年 11 月にフィリピンビサヤ地域を襲った台風の被災地域にて、2013 年 3 月までに 7,810 人に対して、食料や水、生活用品、医薬品などの物資の提供や、子どもが人身売買や虐待・搾取に遭わないようするためのセミナーや、心に傷を負った子どもへの心のケアに繋がるワークショップを実施することができました。

3. 学校や企業などの法人や、メンバー向けの資料の作成とアプローチ

その一方で、取り組めなかったり、次年度へ繰越となったりした事項もありました。具体的には、

- ・サポーター（キッズパワー募金）の広報の充実と獲得
- ・個人情報の管理システムの構築と運用

上記 2013 年度中に実施できなかった事項については、2014 年度に取り組む課題として引き継ぎ、ビジョンの実現に向けた良質な活動と組織運営を進めていく所存ですので、どうぞご支援ご協力をよろしくお願い致します。

代表理事 中島早苗

1) 子ども主体事業

担当：子ども代表委員 2013

◆子ども代表委員 2013

西野 彩妃 (大学一年生)

賀来 ゆり恵(高校3年生)

佐光 真由子(高校3年生)

林 優香(大学2年生) サポート役

◆事業の目的と役割 と 活動内容

*目的・役割：

全ての子どもメンバーが安心して楽しく活動できる環境づくり。イベントを企画・運営するというより、地方と活動チームや、新しいメンバーと活動チームの仲介の活動をすること。

*活動内容

1. TAAJ(テイクアクションアカデミーインジャパン)の開催

・時期：3月25～28日

・内容：子どもメンバーの活動紹介を担当。

2. 熊本支部との情報交換

・時期：12月13日

・内容：スカイプを通して、最近のお互いの支部の活動を近況報告。熊本支部からは、メッセージを書いたのぼりを自転車に付ける、写真展を開く、などの活動を聞いた。

3. 活動ヒント講座にて、新しいメンバーへのアドバイス、サポート

・時期：毎年

・内容：活動ヒント講座にきてくれたメンバーに同じ子どもメンバーとしてアドバイス。そのメンバーにおすすめのチームやアクションの起こし方などを説明。今年は特に元子どもメンバーを呼ぶ企画を行い、元子ども代表委員やNGO職員の方に話をしてもらった。

*子ども代表委員より一年間を振り返って(西野彩紀)

今年は前年に引き続き同じメンバーとの活動だったので、話し合いをするにしても、活動をするにしても、円滑に進めることができました。自分の意見をはっきりと言いたいことができ、ON/OFFの切り替えがしっかりとできるという点でとても活動しやすい子ども代表委員だったと思います。子どもながらの柔軟な発想を活かし、子どもメンバーらしく楽しみながら活動できました。代表委員が留学中であったり、受験生であったりとそれぞれ忙しく、なかなか集まることができませんでしたが、個々で活動に参加し、子どもメンバーがより活動しやすい環境づくりをすることができたと思います。

2年間、このメンバーと子ども代表委員として活動できたことをとても幸せに思います。とても仲がよく、お互いにいい影響を与えあうことができました。スタッフを始め、子どもメンバーの活動をサポートしてくださった皆さん、ありがとうございました！

私は大学生になってしまったので、もう子どもメンバーとしての活動はできませんが、ユースメンバーとして積極的にFTCJに関わっていきたいと思います。一年間ありがとうございました。

2) 子ども活動応援事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

1. 国内の子どもが、世界の開発途上国で見られる児童労働など苛酷な状況に置かれている子どもの現状を学び、問題を解決するための支援活動の企画・実行を主体的に行えるように育成する。
2. 国内外の子ども権利の擁護を求め、子ども参画を果たすための子どもによる活動のサポートを行う。
3. 東日本大震災支援—特別子ども支援

活動	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	参加対象者の範囲・人数
キャンプ企画実施	FTC カナダが行う Take Action Camp (夏にトロントで実施されている子ども・若者向け1週間のリーダーシップトレーニング・プログラム) に日本の子ども若者が参加できるように企画運営。また、日本の参加者には英会話習得のための特別プログラムをカナダで用意して約2週間実施。	8/1~ 8/12	Toronto 郊外、 Me To We Leadership Centre	2人	8人
	Take Action Camp Japan の企画実施。日本にいる子ども若者が社会問題を知り、その解決に向けて自らがアクションを起こし、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ3泊4日で行われる合宿型ワークショップを実施。	3/25~ 28	事務所 手賀の丘少年 自然の家	3人	25人 (スタッフ15人)
子ども主体事業サポート	子ども代表委員による企画事業へのサポートを実施。	通年	事務所	1人	子ども代表委員、子どもメンバー
子どもメンバー活動サポート	メンバー登録をした子ども達へイベントや活動の情報を定期的に流したり、電話やメール、オフィスでの対応を通じて子どもメンバーが主体的に活動できるようサポートを実施。 活動ヒント講座を毎月1回開催。	通年	主に事務所	3人	全国の子どもメンバー 700人
	メンバーによって構成されている活動チームへのサポートの実施。活動チームに所属する子どもメンバーに、グループの運営の仕方、企画書の書き方や、電話のかけ方、プレスリリースやチラシの作成など広報について日々サポートを実施。 【活動チーム】 アクションキッズ(演劇を通じて活動をするチーム) 子ども記者、チョコプロ、アートキッズ、アンバサダーチーム、English チーム、募金チーム、イベントチーム(ミシェル招へいチーム)、ミニWEDAY チームなど	通年	主に事務所	3人	チームに所属するメンバー
東日本大震災子ども支援	東日本大震災を受け、FTC カナダが行う Take Action Academy へ被災地域に暮らす子ども5名を招待しました。	2013年 8月	Toronto 郊外、 Me To We Leadership Centre	1人	福島県相馬市、宮城県仙台市5人

【活動ご協力のご紹介】

◆活動費助成協力:

三菱UFJ国際財団 (Take Action Academy Japan)

◆寄付協力: Dior (パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャポン株式会社) と株式会社チャンピオン (東日本大震災支援)

3) 外部ネットワーク

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働し FTCJ のビジョン、ゴールを実現することを目指す事業です。

<2013 年度参加・構築したネットワーク>

- ・ JNNE (教育協力 NGO ネットワーク) : 開発途上国の子どもへの教育支援を行っている NGO によるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施しています。また、外務省との意見交換や政策提言なども行います。ネットワークで行うキャンペーン「世界中の子どもに教育を」キャンペーン」にも 2013 年度も運営委員として参加しました。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し、世界の EFA (万人のための教育) 運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動をしています。JNNE 加盟団体などで実行委員会を構成し、実施しています。
- ・ 児童労働ネットワーク (CL ネット) : 児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組む NGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJ は運営委員団体として参加。
- ・ 日比 NGO ネットワーク (JPN) : フィリピンでの開発支援活動を行う日本の NGO とフィリピンの NGO によるネットワーク。フォーラムや外務省との懇談会、団体間での情報交換を実施しています。
- ・ 「子どもの権利条約フォーラム 2013」の幹事会に出席し、活動を実施。
- ・ 「動く→動かす」への賛同団体としてネットワークに参加し、活動を実施。
- ・ その他非営利組織への会員登録や他団体との協力
より良い事業運営のため JANIC (国際協力 NGO センター)、DEAR (開発教育協会) などへの団体会員登録や、活動への参加。

<ネットワーク構築事業による活動一覧>

ネットワーク名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	参加対象者の範囲・人数
JNNE/ 世界中の子どもに教育をキャンペーン	4月15日(月)から5月12日(日)にかけて途上国の教育の現状や教育援助の不足について学ぶ授業が実施され、47都道府県の684校・グループ、59,116人が参加しました。	4月～6月	中学校、事務所	2人	59,116人
	5月7日、衆議院第二議員会館で、4年目となる「国会議員のための世界一大きな授業」を開催した。余イェハンさん、齊藤初雲さん、大竹春菜さん、坂下朋紀さん、佐光真結子さんが子どもメンバーを代表して「先生」、国会議員25名に対して、途上国の子どもの教育をテーマに授業を行った。JNNEからはNGOの提言などを伝えた。		国会議員、外務大臣などへの政策提言	2人	5人
	6月1日、横浜で開かれた TICAD V の初日、上記の高校生が日本からの途上国への教育支援の充実を訴え、全国の「世界一大きな授業 2013」参加者の声を阿部俊子外務大臣政務官に手渡した。				
CL ネット	6月1日～6月30日にかけて「ストップ! 児童労働キャンペーン 2013」を開催。8年目となる2013年は、新企画「ひとはたあげよう」や、参加団体によるイベント開催、Facebook などの SNS やマスメディアを通じて、児童労働のことを知る人・話す人を増やした。株式会社ディックブルーナジャパンの協力の元、「ストップ! 児童労働」のメッセージが込められた旗をダウンロードして作成し、その旗と自分の好きなものを写真に撮り、その写真を投稿してもらうことで、周りのお友達や一般の方々へも「ストップ! 児童労働」のメッセージを伝えるというアクションをおこなった。その結果、6月1日～30日の1ヶ月間で、のべ65,366人の方々にリーチすることができた。	6月	全国	5人	400人 (FTCJ イベントのみ)
	上記のキャンペーン賛同イベントとしてFTCJ主催で、6月5日に「めっちゃ学校行きたいねん! 御堂筋ウォーク 2013」、6月15日に「児童労働勉強会」を実施した。	6月5日 6月15日	大阪 東京	2人	50人

日比 NGO ネットワーク	フィリピンのより良い開発支援のためのネットワーク間での話し合いや、外務省との連携。前年度に引き続きフィリピンの GGP（草の根・人間の安全保障無償資金協力。在外日本大使館が担当する途上国援助をするための ODA の一つのスキーム）の現地事業評価報告書を作成し、外務省に対して提言及び意見交換会で発表を行った。また、11 月にフィリピンを襲った大型台風緊急支援に対してネットワークとして情報収集や支援活動に取組んだ。	通年	事務所、東京	1 人	フィリピンの人々
子どもの権利条約フォーラム	2013 年 11 月 16 日、17 日に子どもの権利条約フォーラムを開催した。FTCJ は幹事団体として参加。オープニングセレモニーでアクションキッズが演劇を披露した。	通年	事務所、東京	1 人	200 人
動く→動かす	00 年国連ミレニアム・サミットで、世界の貧困問題を解決するために、15 年までに達成すべき目標として「ミレニアム開発目標」(Millennium Development Goals: MDGs) が掲げられたことを受け、この MDGs を達成し、世界の貧困問題解決に向けた取り組みを日本から作り出すことを最大の目標として活動するネットワーク。2013 年も STAND UP TAKE ACTION が行われ、1057 件 3 万 4879 人が参加した。	10 月	事務所、東京	1 人	3 万 4879 人

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

4) アドボカシー事業

目的：国際問題や権利を奪われた子どもの現状を様々な方法で伝え、多くの人に知ってもらうことで問題解決につなげる。主に関東と関西で事業を展開しています。

内容：ニュースレター発行、ホームページ構築・更新、出版、資料開発、物販（フェアトレードチーム）、イベント実施、スピーカー派遣など

事業名	内容	作業実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数
イベント出展・スピーカー派遣（学校への出張講演含）	【尚綱学院大学】子ども買春の現状と、日本にいる私たちに出来る事	4/1	宮城県名取市	3 人	8 人
	【Wesley Foundation Youth Forum】~Let's Have Fun Changing the World~	4/26	東京都港区	1 人	10 人
	【大阪ローターアクトクラブ】世界の現状/問題・原因について	5/10	大阪府	1 人	12 人
	【中野区第五中学校】人権について	5/11	東京都中野区	1 人	281 人
	【立命館宇治】インドプロジェクトチーム（DOOR）、IM（英語コース）進路相談	5/14	京都府宇治市	1 人	12 人
	【能勢町立西中学校】世界の現状/問題・原因について、団体説明	5/15	大阪府豊能郡	1 人	87 人
	【能勢町立天王小学校】世界の現状/問題・原因について、団体説明	5/16	大阪府豊能郡	1 人	4 人
	【能勢町立東中学校】児童労働について知り、行動する事	5/17	大阪府豊能郡	1 人	16 人
	【獨協大学環境・国際団体 Deco】国際関係のテーマ、児童労働や貧困問題などで主にワークショップ形式	5/22	東京都	2 人	20 人
【法政大学】FTCJ の紹介、今後の法政での活動について	6/13	東京都	3 人	40 人	

イベント出展 ・ スピーカー派遣 (学校への出張講演含)	【株式会社ウエストコースト】少年兵の現実を知ること、私たちにできること	6/17	愛知県名古屋市	1人	40人
	【Lakeland College Japan】世界の恵まれない子どもについて、勉強ができない子ども達について	6/26	東京都新宿区	1人	50人
	【調布市立若葉小学校】共に生きる	6/28	東京都調布市	1人	97人
	【カートサーモンUS Inc.】団体説明、企業として出来る事	8/30	東京都港区	1人	5人
	【立命館守山高等学校】国際貢献	9/7	滋賀県守山市	4人	280人
	【豊中市立第五中学校】世界の子どもの現状	9/11	愛知県豊中市	1人	100人
	【立命館宇治高等学校】世界の人口、お金、食べ物 の分配について知る、考える	9/13	京都府宇治市	1人	5人
	【立命館守山高等学校】国際貢献	9/14	京都府宇治市	1人	10人
	【せんだい地球フェスタ】ひろげよう、心のとびら！ つながろう、世界と。	9/15	宮城県仙台市	3人	30人
	【東京都立国際高校】異文化理解	10/3	東京都目黒区	1人	240人
	【川崎市立橘高等学校】世界の現状を知る	10/7	神奈川県川崎市	1人	41人
	【Global Leadership Summit NEXT】Make a difference～違いを生み出そう	10/14	東京都	1人	500人
	【世田谷区立桜丘中学校文化祭 SAKURA フェスタ】	10/27	東京都世田谷区	1人	100人
	【東京都立武蔵村山高等学校】異文化交流、英語が 好きになるようなワークショップ	10/27	東京都武蔵村山市	1人	160人
	【パルシステム】「平和」活動	10/28	東京都	1人	120人
	【東京都立武蔵村山高等学校】英語を使うと世界が 広がる	10/31	東京都武蔵村山市	1人	60人
	【埼玉県坂戸市立千代田中学校】総合的な学習の時間 の国際理解教育の一環として	11/1	埼玉県坂戸市	2人	90人
	【Sport For Smile シードカフェ 2013】スポーツという、 若者にも親しみのあるツールを活用し、より多くの若者、 また一般の人々が普段は顧みることの少ない社会課題 について考える	11/16	東京都	2人	271人
	【子どもの権利条約フォーラム】権利を奪われた世界 の子どもたち、私たちにできること	11/17	東京都	1人	3人
	【Sport For Smile ラウンジスペシャル 2013】「スポーツ で社会を変える」ってどういうこと？	11/24	東京都	1人	100人
	【相馬市立中村第一小学校】世界の問題について	12/3	福島県相馬市	1人	64人
	【栃木県真岡市立山前中学校】人権	12/13	栃木県真岡市	1人	201
	【大阪府立能勢高等学校】産業社会と人間	11/8	大阪府豊能郡	1人	61人
【大阪府豊能郡能勢町立西中学校】国際理解	11/15	大阪府豊能郡	1人	31人	
【福岡県糸島市立南風小学校】チームビルディング	12/20	福岡県糸島市	1人	36人	
【Fellowship English Class】チームビルディング	12/20	福岡県糸島市	1人	36人	
【FTCJ 熊本&福岡 X'mas ミーティング】チームビル ディングを含め、メンバーのモチベーションアップ、 自分を知る、仲間を知る	12/22	熊本県	1人	12人	

	【尚綱学院高等学校】世界の子どもたちの現状	2014 01/08	宮城県 名取市	1人	200人
	【第9回神奈川県国際フェスタ】FTCJの活動内容、ガーナの話	1/12	神奈川県 相模原市	1人	60人
	【東京学芸大附属国際中等教育学校】Young Activists	1/15	東京都	1人	30人
	【埼玉県立春日部女子高等学校】児童労働と教育	1/16	埼玉県 春日部市	1人	36人
	【神奈川県立神奈川総合高等学校】Child Labor	1/24	神奈川県	1人	16人
	【栃木県立益子芳星高等学校】国際理解	2/3	栃木県 芳賀郡	1人	160人
	【茗溪学園高等学校】児童労働の現状	1/18	茨城県 つくば市	1人	280人
	【K International】Empowering students and community in service	2/4	東京都	1人	200人
	【品川区立江原第六中学校】団体説明・活動紹介	2/6	東京都 品川区	1人	6人
	【有馬高等学校】児童労働と教育	2/10	神奈川県	1人	41人
	【練馬区立大泉第二小学校】児童労働や貧困の実態を知り、自分たちに出来ることを考える	2/14	東京都 練馬区	2人	125人
	【新潟国際ボランティアセンター】貧困と飢餓・戦争についての世界の現状、世界の子ども・児童労働について	2/15	新潟県 新潟市	1人	15人
	【東京都立六本木高等学校】世界の現状と私たちに出来ること	2/18	東京都 港区	1人	50人
	【日本医歯薬専門学校】世界の問題を知り、自分たちに出来る事を考える	2/25-27	東京都	4人	43人
	【日本公文教育研究会】ファシリテーター・トレーニング	3/3-3/4	東京都	1人	12人
	【新宿区立落合第二中学校】アクションを起こすきっかけ	3/14	東京都 新宿区	1人	83人
	【Wesley Foundation】児童買春について	3/9	東京都 港区	1人	25人
	【Mini We Day】団体説明、世界の現状	3/31	東京都 江東区	1人	100人
事務所訪問 対応	世界の児童労働や貧困の現状と解決に向けた FTCJ の活動紹介について説明、スピーチなど実施	21回	FTCJ オフィス (東京)	8人	65人
FTCJ 説明会 & 活動ヒント講座	月一回定期的に、東京オフィスにて児童労働や貧困の現状と解決に向けた FTCJ の活動紹介などを紹介し、活動のヒントやコツなどの講座を実施。	12回	FTCJ オフィス (東京)	6人	50人

事業名	内容	作業実施 日時	実施 場所	従事 者 人数	受益対象者 の範囲及び 人数
ニュース レター・ア ニュアルレ ポート発行	2012年度アニュアルレポート NL 32号 特集: Take Action Academy レポート NL 33号 特集: チョコプロ・Mini Weday	10月 11月 3月	東京 事務所	5人	各号500部 印刷
ホームペ ージ更新・作成	FTCJweb サイトリニューアル: 1日平均130人程度アクセスあり。一人当たり4.1ページビューあり。 ニュース・レポート: 1日平均354人程度アクセスあり	通年	事務所	1人	国内外の人々
資料開発・ 出版	活動ガイドブック、団体パンフレット、フェアトレード案内資料をリニューアルした。	通年	各イベ ント等	3人	各資料500部
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、それに関する資料作成と仕入れ、販売など。		事務所	6人	子ども、一般

【活動ご協力のご紹介】

- ◆助成協力: 公益信託オラクル有志の会ボランティア基金 (活動ガイドブック)、
日本財団 (出張講演、ファシリテーター育成)、世田谷国際交流基金 (活動ヒント講座)

5) 海外自立支援事業 ・ 緊急支援事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

目的： 貧困などが原因で権利を奪われ困っている開発途上国の子ども（支援地域のフィリピン、インド、モンゴル、ケニアなど）の権利が守られ教育を受けられ自立できるよう支援する。

内容： フィリピン、インド、モンゴル、ケニアなどの開発途上国の子どもが貧困から解放され自立できるよう包括的な支援事業を実施する。

<フィリピン支援事業>

FTCJでは、下記3つのフィリピン支援事業を実施しました。

1. 先住民族アエタ族コミュニティへの水支援と虐待を受けた子どもへの教育支援

フィリピン・ルソン島の山岳地域に暮らす先住民族のアエタ族のコミュニティの人々がきれいな水にアクセスでき、農業に必要な灌漑用水を確保できるよう水源と水路の設置事業に取り組みました。また、性的虐待や法に抵触し刑務所に入れられた少年に対して、社会復帰できるような教育支援を行いました。実施当たってはパートナー団体の現地 NGO プレダ基金を通じて事業を行いました。

2. ミンダナオ島先住民族コミュニティ 自立支援

フィリピン南部ミンダナオ島ダバオ・デル・ノルテ州ビナンシャン・バラングイに暮らす先住民族『ディババウオン族』コミュニティの幼児 3~5 歳約 200 人対象の幼児教育施設の建設と就学前教育の実施支援。また、コミュニティの子どもを対象にした伝統文化の継承事業の実施を行いました。

3. 緊急支援

2013 年 11 月にフィリピンを襲った大型台風被害を受け、現地 NGO や地自体、公立学校などと連携しフィリピンのビザヤ地域で被災した子どもやその家族を対象に、食料品や生活用品、医薬品の配給支援と、子どもの心のケアのためのワークショップを実施しました。

事業名	事業内容	実施日	受益対象者の範囲及び人数
アエタ族コミュニティ水支援	フィリピン・ルソン島ザンバレス州のアエタ族の5つのコミュニティ（パパット、ラカス、カドマン、バクリ、リザーバ）に住む650世帯3,770人を対象に、手動式くみ上げポンプ、灌漑用水システムの設置、持続可能な農業についての研修を行った。本事業によって、コミュニティの住民はきれいな水を身近に入手できるようになり、農業に必要な水の確保が可能となった。	通年	アエタ族 3,770人
性虐待や刑務所から救出された子ども支援	指定寄付やフェアトレード商品の購入資金によって、フィリピン・ルソン島オロンガポに位置する現地パートナー団体プレダ基金を通して、性的虐待・搾取を受けた少女や、路上や刑務所から救出された少年への教育、自立支援の実施。	通年	子ども約 200人
ミンダナオ島先住民族コミュニティ自立支援	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金と、地球市民財団からの助成金を使い、ディババウオン族の就学前教育を行う施設（デイケアセンター）の建設事業が、2013年7月に校舎が完成し、開講式を行った。8月から幼児教育が行われ、午後など空いている時間に地域の親向け（特に母親）の保健衛生教育、職業訓練セミナー、地域の小学校以上の子どもへの先住民族としての文化理解継承教育を実施している。	通年	ディババウオン族の幼児・子ども 300人
緊急支援	2013年11月にフィリピンを直撃した台風30号「ハイヤン（ヨランダ）」により、甚大な被害を受けた中部のパナイ島、レイテ島、セブ島、サマル島において、緊急支援を実施し、被災した人々、特に子どもを対象に、食料（水、米等）・医薬品・生活用品・学用品などの支援物資提供。また、避難所で救援活動にあたる人々に対して、被災者のケアの仕方や接し方の指導、子どもへの子どもの権利や人身売買や搾取などの危険から身を守るためのワークショップの実施、家族や親せきを失い孤児になった子どもの調査保護活動に取り組んだ。更に、被災した家族への生計維持支援を実施した。	2013年 11月～ 3月	被災者 7810人

<インド支援事業>

FTCJ では、下記 2 つの地域にて貧困地域の子ども支援事業を行いました。

1. 西ベンガル州の貧困下におかれた子どもの救出・自立支援活動

◆**事業目的**：貧困が原因で権利を奪われ、児童労働などの過酷な環境に置かれているインド西ベンガルの子どもが、FTCJ の支援を通して貧困状態から助け出し、安心して健康的な子ども時代を送り、自立して生活できるための教育を受けられるよう支援します。

◆**パートナー団体**： Center for Communication and Development (以下 CCD)

<設立経緯・背景>

1978 年に起こった洪水がきっかけとなり被害を受けた人々を支援するため代表のスワパン・マッカージ氏が中心となって設立された NGO。市街地から離れた所に医療診療所 (Medical clinic) を作ることから着手し、学校のない村で学校建設や収入向上プロジェクト (Economic welfare activities) を開始。その後、危険な環境で働く子どもを救出し家族のもとへ返したり保護施設に預けたりする活動を始めた。現在は、CCD 自体が貧困のため家族と共に生活できない子どもや過酷な環境で働く子どもを救出し、子どもたちが安心して生活できるような環境を提供するため養護施設「マクタニール子どもの家」を運営している。そして、FTCJ は、この施設で暮らす少年たちの教育費や食費などをサポートしている。

事業名	事業内容	実 施 時 日	受益対象者の範囲及び人数
CCD マクタニール養護施設運営事業	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金を主な財源として、この施設で生活する子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らせるよう支援しました。支援金は学校に通うために必要な制服や文房具、ワークショップ教材費や、食費に使われました。また、施設では美術や体育などの情操教育を通し、より豊かな心身の発達を育んでいます。	通年	マクタニール擁護施設で生活する 22 人の子ども

2. ラジャスタン州の貧困農村地域の子どもへの支援活動

◆**事業目的**：インドのラジャスタン州ウダイプール周辺ラジャスマンド地方貧困農村地域で生活する子どもたちが、FTC の支援を通して子どもの権利が守られ安全で健康な子ども時代を送り、自立に向け教育を受けられるよう支援します。

◆**事業実施体制**：FTC ネットワークにより実施 (FTC インドとの連携協力)

◆支援地域について

支援事業地：ラジャスタン州ウダイプール周辺ラジャスマンド地方ウダワド村及びバリンド村

支援地背景：ラジャスマンド地方の農村地区に暮らす 75% の人々は未開拓地に住んでいる。これらコミュニティには様々な少数民族がおり、人々は長い間社会から隔離され、取り残されてきた。村は深い森と高い丘に囲まれており、土地は平らではなく、電気やガス、水道などのライフラインは各家庭にひかれていない。半乾燥地帯のため土地を耕作する事が困難なため、村人の多くはやせた土地に住んで細々と農業を営んでいる。農業だけでは収入があまり得られないので出稼ぎ労働に従事している家族も多く見受けられる。

支援地課題：統計によると、支援地域では栄養失調と不衛生な環境によって 2 割弱の幼児が 5 歳までに命を落としており、健康・保健面で問題があることが分かった。また、地域特有の問題として、土地の大部分を政府が所有しており、25% だけが人々が耕作する為に残された土地だが岩と石が多く半乾燥地帯のため農業には厳しい条件となっており、慢性的な水不足及び食糧不足により、住民は悩まされている。

事業名	事業内容	実 施 時 日	受益対象者の範囲及び人数
インド農村地域自立支援一保健衛生支援	2012 年度から保健教育を実施し、村人の保健衛生の知識を高め、健康向上の活動を行った。具体的には学校敷地内に、スクールガーデンを設置し葉草や野菜類などの苗木を植え、学校に通う生徒とその家族がそれらの植物を育て健康のために使えるようなセミナーを行った。また、家庭訪問を通じた女性の保健教育に対する意識付けに取り組んだ。 助成協力：草の根市民基金・ぐらん	通年	ウダワド村の子ども 170 人及びその家族 800 人
インド農村地域自立支援一保健衛生支援	株式会社ディアーズ・ブレインのご支援により建設されたバリンド村の小学校に通う子ども及びその家族とディアーズ・ブレインの社員の皆様との交流事業の実施。また、学校敷地内にトイレ建設設置事業や学校に通う子どもへの保健衛生教育事業の実施。	通年	バリンド村の 300 世帯の人々

<モンゴル支援事業>

1) 図書室設置事業 : バヤンズルフ地区の第 92 号学校に図書室を設置しました。

- ◆事業目的： 支援事業地周辺に住む子どもが図書館に来ることで、様々な本が通じて想像力を養い、識字能力を高めることができるようになる。ひいては、自身の夢や希望を持ち実現のために歩むことができるようにする。
- ◆支援事業地： 首都ウランバートル(UB)市バヤンズルフ地区第 92 号学校
- ◆協力体制： モンゴルカルチャーパーク アルタン・ウルジー氏 / 現地で書籍や備品の購入、学校との連携

事業名	事業内容	実 施 日 時	受益対象者の範囲及び人数
図書館設置事業	2008 年より 5 年間、モンゴルの伝統家屋のゲル図書館を運営し、たくさんの子どもたちが本を読んだり、友達と遊んだり、勉強をしたりして来てくれましたが、完成より 5 年が経ち、ゲルの寿命が来たためこの図書館は 2012 年夏をもって閉鎖されましたが、今後も子どもたちが本を読む機会を提供し続けるために、2013 年より、公立学校内での図書室の開設の準備を行い、3 月には開設式を行いました。2014 年度も引き続き、運営のサポートを行っています。	通年	支援地に住む 3,000 人の子ども

<ケニア支援事業>

ケニアの乳幼児や子どもへの水支援事業

事業名	事業内容	実 施 日 時	受益対象者の範囲及び人数
ケニア水支援	1 円玉募金の寄付によって、リフトバレー州ナロク南部県のキブシギス族及びマサイ族コミュニティにおける井戸設置事業を実施。コミュニティに住む人々が以前は遠くまで水汲みに行かなければいけなかったが、きれいな水へのアクセスがしやすくなり、生活の質と健康、保健面での向上がみられるようになった。	通年	支援地域に暮らす子どもと家族 56 人以上

【活動ご協力のご紹介】

◆活動費助成協力：

TOTO 株式会社 水環境基金(フィリピン水支援事業)、公益信託 今井海外協力基金(モンゴル図書館設置事業)
日蓮宗あんのん基金 (モンゴル図書館設置事業)

東京都の草の根助成「草の根市民基金・ぐらん」ーインド・ラジャスタン州ウダワド村 農村地域保健衛生支援

◆寄付協力：

TOTO 株式会社(フィリピン緊急支援事業)

6) その他

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者の人数
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	—	30 人
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため下記の助成を受け研修を受講 ・ Panasonic NPO サポート ファンド組織基盤強化事業 ・ NPO 会計講座	8~3 月	東京事務所	4 人
個人情報管理	アクセスのデータを構築デザインし、メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行った。	通年	東京事務所	6 人
問い合わせ対応	e メール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。 対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など(子どもメンバー 183 人、ユースメンバー 86 人、ボランティアメンバー登録 78 人)	通年	東京事務所	6 人

会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	2人
理事会 運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	事務所	11人
その他	事務所運営管理、什器管理など。	通年	事務所	5人

【活動ご協力のご紹介】（敬省略、順不同）

- ◆助成協力：Panasonic NPO サポートファンド、一般財団法人日本国際協カシステム
- ◆協力：コースアクション（コンサルタント）

【メディア掲載一覧】 2013 度にメディアで配信された FTCJ の活動です。

メディア配信・媒体名	時 期	内 容
人権タイムス 機関紙	通年	代表理事・中島早苗による子どもの権利に係わる原稿掲載されました。
高校家庭教科書 2012 生活学 Navi	通年	FTCJ の活動が紹介されました。
中学公民教科書ビジュアル公民 2012	通年	子ども兵士や教育を受けられない子どもについての情報提供。
高校英語教科書 UNICORN	通年	FTC を創設したクレイグ少年の物語がレズントピックとして掲載されています。
高校英語教科書 English Now !	通年	FTC を創設したクレイグ少年の物語がレズントピックとして掲載されています。
中学公民教科書『ビジュアル公民 2012』	通年	児童労働をしている子どもたちの写真と文章を提供しました。
東京新聞	4/27	世界一大きな授業が紹介されました
ジャパントイムス	5/2	チョコプロの販売風景が紹介されました
公明新聞	5/11	世界一大きな授業が紹介されました
明日への手紙	2/8	ダンスチーム、フェアトレードチーム、関根さん・原元のインタビューが紹介されました。
サンケイスポーツ	1/29	「ワン・ワールド・フェスティバル」での活動が紹介されました。
ゼクシー	12/21	フィリピンのドライマンゴーが紹介されました。
シナジー	12/1	キッズパワー募金が紹介されました。
セボネ	3 月	FTCJ の活動が紹介されました。
モンゴル通信	3 月	図書室の開設式の様子が紹介されました。

【インターネットご紹介】

2013 年度は下記のインターネットのみなさんが活動を支援担当の事業を担いました。素晴らしい働きを本当にありがとうございました！（敬称略・順不同）

1. 稲葉めぐみ - 資金調達、管理部（広報）
2. 甲野有沙 - 資金調達、管理部（広報）
3. 大沼 翔 - 管理部（データ管理）
4. 坂下 朋紀 - アドボカシー事業（出張講演）
5. 宮川慎司-アドボカシー事業（広報）
6. 竹内拓海-アドボカシー（広報）
7. 谷口佳世-子ども活動応援事業
8. 横山風香-子ども活動応援事業
9. Marie Catherine Nde Ndiaye-アドボカシー事業（広報）
10. 中島将幹-子ども活動応援事業、アドボカシー事業（広報）
11. 黒坂映-アドボカシー事業（広報）
12. 依田サラ舞香-外部ネットワーク事業、アドボカシー（広報、物販）、資金調達
13. 福井雄一-アドボカシー事業（出張講演）
14. 為貝優子-アドボカシー事業（広報、イベント）
15. 江里口泰子-子ども活動応援事業、アドボカシー事業（広報）

その他、2013 年も多くのメンバーやボランティアさんに支えられて活動に取り組むことができました。皆様からの活動へのご支援ご協力に、理事及び事務局スタッフ一同心より感謝申し上げます。